

News Release

各位

2022年8月31日
丸藤シートパイル株式会社

地盤技術フォーラム 2022「基礎工技術展」 出展のお知らせ

«2022年9月14日(水)～2022年9月16日(金)開催»

弊社は、2022年9月14日(水)から2022年9月16日(金)の3日間、東京ビッグサイト西2ホールで開催される、地盤技術フォーラム 2022「基礎工技術展」へ出展いたします。

弊社ブースでは、セメントミルク・削孔残土処分不要で環境負荷とコストの低減を実現した「RG工法（油圧パイプロ併用圧入工法）」をはじめ、システム仮橋「ランドクロス」シリーズで好評をいただいている「Hyper 栈橋」、現場のIOT化をサポートする「瞬示」、などの展示を予定致しております。（弊社ブース番号は「G-73」となります）

【開催概要】

名称：地盤技術フォーラム 2022「基礎工技術展」HP (<http://www.sgrte.jp/>)

主催：産経新聞社

会期：2022年9月14日（水）～16日（金） 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 西2ホール

会場住所：〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1

入場料：無料（事前登録必須）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】 丸藤シートパイル株式会社

【商品情報】

工事統括部 施工計画 G (RG工法) : 山口 (智) TEL : 03-3242-7662 MAIL : t-guchi@mrj.co.jp

技術開発部 橋梁 G (Hyper 栈橋・ランドクロス) : 佐々木 TEL: 03-3639-7658 MAIL: m-sasaki@mrj.co.jp

技術開発部 技術開発 G (マルフジクリップ) : 矢後 TEL: 03-3639-7672 MAIL: k.yago@mrj.co.jp

技術開発部 商品開発 G (エムクロス、瞬示) : 内山 TEL : 03-3639-7688 MAIL: utiyama@mrj.co.jp

【営業】 東京支店 : 川畑 TEL : 03-3242-7651 MAIL: k-kawabata@mrj.co.jp

【展示会事務局】 経営企画部 : 工藤 TEL : 03-3639-7661 MAIL : h.kudo@mrj.co.jp

■丸藤シートパイル展示概要

ORG 工法（油圧バイブロ併用圧入工法）

【製品の特長】

環境に配慮しつつコストを低減する伸縮型リーダーと油圧可変式超高周波バイブロを備えた杭打機

- 打設速度が早く施工効率が良い
 - ・油圧可変式超高周波バイブロで最大起振力 1500kN と伸縮リーダーの圧入力 140kN で硬質地盤にも有効
 - ・起振力を 50kN 毎に細かく調整でき、地層に合わせた施工が可能
- 高い施工精度と安定性
 - ・伸縮リーダーに装備されている自動垂直制御装置により、リアルタイムに精度確認が可能
 - ・杭打機移動時は低重心化により、走行時の安定性が UP
- CO₂削減、セメントミルク・削孔残土処分が不要 ⇒ 環境配慮・コスト削減



○Hyper 棧橋（渇水期仮棧橋）/ランドクロスシリーズ

従来の H700～H900 桁に代わる新世代の「仮棧橋桁」

- 比較的短支間・短期間条件となる渇水期内工事用仮棧橋で力を発揮
 - 【リース可能】 上部工は部材も含めて全てリース可能 ⇒ 短期間使用に最適
 - 【高強度】 H900 桁に対し約 1.4 倍の曲げ強度を実現 ⇒ スパンを飛ばして杭本数を削減
 - 【自由な支間設定】 主桁ジョイント機構を標準装備 ⇒ 使用条件に合わせた自由な支間設定可能
 - 【簡単組立】 材料システム化で簡単急速施工を実現 ⇒ 工期短縮を実現
 - 【安定品質】 材料強度低下を招く繰り返し溶接加工が不要 ⇒ 高品質維持で安全施工継続



○ランドクロスシリーズ（仮橋・仮栈橋）

●用途・使用条件に合わせた最適タイプをご用意

- 【迂回路仮橋】 橋長・自動車荷重に合わせ、「鉸桁タイプⅠ・Ⅱ」の2タイプをご用意
- 【大型重機作業】 長支間下で最大 200 t クローラ作業を実現。「ストロングタイプ」
- 【超長支間確保】 最大 60mの超長支間を実現。業界最軽量の「トラスタイプ」
- 【歩道仮橋】 端部すりつけ高わずか 150mm。周辺環境にマッチする「歩道タイプ」
- 【渇水期仮栈橋】 渇水期内施工に最適。加工不要で簡単組立の「Hyper 栈橋」



○OM'cross（エムクロス）

●たわみ削減技術を導入した次世代型長支間対応切梁、高強度角型鋼管を使用することにより座屈を低減

【製品特徴】

- ・切梁自重による想定たわみ量を、予めキャンバーを導入することにより、架設時たわみを低減する「プレ・キャンバー」（特許取得）を導入
- ・高強度材：UBCR365 を使用し、軽量化と強度向上を実現
- ・15m～20m のスパンを中間杭なしで施工可能となり、安全性・経済性に優れる

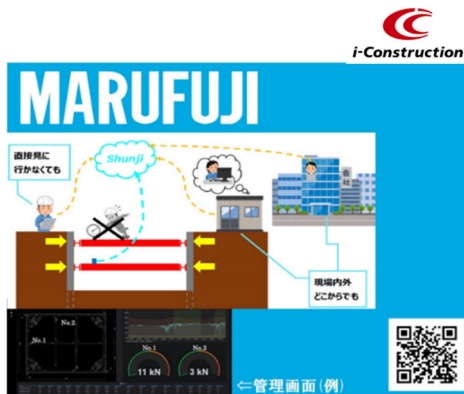


○瞬示【Shunji】

●バッテリー駆動タイプの無線圧力計を使用する事で、油圧ジャッキに作用する圧力(≒切梁軸力)を直接計測し、クラウドサーバーへデータを送信

【製品特徴】

- ・油圧の配管、電源の配線手間を抑え、高所での危険な管理作業不要
- ・計測データは時刻歴と共に自動保存され、データ管理業務も簡易に行う事が可能
- ・管理値超過時にアラートメールの送信が可能
- ・現場に合わせて管理画面を構成可能



○マルフジクリップ（覆工板 締結金物）

●覆工板の吊り穴を利用した上面施工タイプの締結金物

【製品の特長】

- ・主桁 H 形鋼フランジ幅 300mm、350mmに対応可能
- ・主桁締結時における複数回の締付・緩め作業が可能
- ・自動車走行時の衝撃による緩みが発生しにくい
- ・取外し時、緩め過ぎによる締結金具落下を防止

